

【白岡市】 校務DX計画

白岡市では、児童生徒に学習用端末（iPad）を配布し、タブレット端末を効果的に活用した授業を推進しながら、GIGAスクール構想の実現に向けて取り組んでいます。「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、チェックリストに示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本市において、次に掲げる事項を重点的に進めていきます。

1 校務系とネットワークの統合

「GIGAスクール構想」に基づき、小・中学校の1人1台端末の整備や学校の高速度大容量の通信ネットワークなどの一体的な整備が求められており、ネットワーク分離を必要としない、アクセス制限を前提としたネットワーク構成に向けて、クラウド化やアクセス制限、認証などについて検討を進めていきます。アクセス制御によるセキュリティ対策を十分に確保しながら、校務系とネットワーク系の統合するゼロトラストセキュリティの導入について環境を構築していきます。

2 デジタル化に向けた各種ツールの活用

公務の効率化や授業の質の向上を図るため、授業支援ソフトやデジタルドリルで蓄積した学習系データ、MEXCBTなどの教育行政データ、児童生徒の出欠席及び成績情報等の校務系データなどを集約して、全ての教職員が効果的に活用できるように、定期的なICT研修や各学校にICT支援員を派遣し、連携を図りながら進めていきます。

3 FAXおよび押印の見直し

FAXについては、今後緊急連絡やネットワーク不具合時など、電子メール等より効果的な場合を除き、原則廃止としていきます。押印については、市全体で押印の見直し及び廃止に向けて取り組んでいきます。

4 ペーパーレス化の推進

現在、各校において閲覧可能な共有ファイルを活用して会議を進めており、ペーパーレス化を推進しています。今後、令和6年4月から導入された校務支援システムを有効活用し、更なるペーパーレス化を図っていきます。